

開催期間:

2012.10.19

一回目の送付の際は文字は黒で 2回目以降は修正部分を赤字にしてください

スタッフ:

13members

8

支援者:

コーディネーター 平尾 清 氏

大学教授でコンサルティング事務所代表を兼務。一般企業や公共団体へのコンサルティングのほか地域活性化、街づくりサポートなど幅広いソリューションを提供している。

簡潔な短い文章にしてください。やっつけ仕事禁止

予算:

\$325(1ドル=90円)

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

利益／損失:

0

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

誰の為に？

山形市民 25 万人

主語を忘れないように「我々 JCI〇〇は、」「我々委員会は、」です。

目的:

- ①地域社会に関心を持ち、地域社会を愛する市民
- ②地域社会の理想的な未来を具体的に思い描く市民
- ③地域社会の問題点を把握し、解決に向け自発的・積極的に行動する市民

我々JCI山形は、地域社会を前向きに発展させるために、これらの市民の育成を目的とする。

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

概要:

我々JCI山形は、地域を良くしたいという思いを持つ市民に対し、思いが同じ同士で集まろうとfacebookを通して呼びかけた。

我々JCI山形は、呼びかけに応じて集まった市民と共に、地域社会の問題について理解・共有し、その発展に向け能動的に行動するためにオフサイト・ミーティングを開催した。

全部で400字以上

- ①我々JCI 山形は、市民に対し「地域社会の問題点を探る」「地域社会の発展の方法を考える」「地域社会について考える仲間を増やす」というキーワードで呼びかけを行い、オフサイト・ミーティングを開催した。
- ②我々は、市民に対し地域社会の問題点や改善策についてグループ毎や「いいね！」ボードを使い全員で討論してもらいました。彼らは地域社会や街づくりの活動を知り、参加し、広く発信するための SNS の活用法を学んだ。
- ③参加した市民は仲間と情報共有を行い、地域についてより深く知識を得ることができた。
- ④我々JCI 山形は、市民に対し地域社会のため率先して行動するために意識改革してもらう機会を提供した。

主語を忘れないこと、単語は7つ以下で1文とすること

結果をキチンと確認しないとココは書けません。
解らない場合はすぐに関係者、参加者にアンケートをとり
関係者からのプラスとマイナスの評価を入手して下さい。

結果:

- ①市民が地域社会について関心を持ち、理解を深めたことで、地域社会のため能動的に行動するために意識改革できた。
- ②市民からの提案で、さらに地域をよく知り、発展させるために「山形まちづくり塾」が発足した。

オフサイト・ミーティング後、facebook ページの「いいね！」が 200 件増え、共感してくれる市民が増加した。さらに、もっと学びたいという同士が集まり「山形まちづくり塾」企画が立案された。説明会にはオフサイト・ミーティングを上回る市民が集まった。

オフサイト・ミーティング後の Facebook ページが 400 件以上の「いいね！」に増加し、40 件以上のシェアがあった。オフサイト・ミーティング後に立案された「山形まちづくり塾」説明会は当初 100 名の定員を予定していたが、130 名の申込があった。

これまではそれぞれが独自で地域社会について考えている状況から、市民間での意識共有ができ、市民自身が問題提起や活性化のための手法を身につけ、自発的・積極的に行動する市民を育成できた。

行動:

2012/01~03 行政・市民団体・ボランティア団体との協議 地域社会の現状・問題点
など確認作業

2012/05/21 打合せ 事業企画・立案、講師候補選定

2012/05/24 打合せ 会場選定、facebook ページ原案作成

2012/05/27 打合せ 告知方法・事業内容について協議

2012/06/01 専用 facebook ページ設立

2012/06/04 facebook ユーザーネーム取得

2012/06/15 打合せ 事業内容協議

2012/07/15 打合せ 事業内容協議・講師絞込み

2012/08/20 打合せ 講師と講演・当日スケジュール協議

2012/09/01 オフサイト・ミーティング申込開始

2012/09/09 打合せ 役割・スケジュール協議

2012/09/21 打合せ スケジュール・役割・備品等・申込状況確認

2012/09/22 講師による facebook イベント作成

2012/10/03 打合せ 講師とスケジュール確認

2012/10/11 打合せ 最終確認

2012/10/19 オフサイト・ミーティング開催 facebook への随時 UP

全部で 200 字以上
2000 字以内程度

読めば委員会の事業前から
事業後までの動きが
だいたい、大まかに解るようにして下さい。

<p>考察や推奨</p>	<p>我々JCI 山形が行った本事業を通じ、以下の結果が得られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市民が地域社会の現状や問題点を認識することで、地域社会への関心を深めることができた。 ②市民が問題点を解決することが地域社会の発展につながることを理解し、理想の地域社会のかたちを思い描いた。 ③市民が地域社会の問題点解決に向け、理想の地域社会のため意識改革し、具体的に行動した。 <p>今後も地域社会の前向きな発展に向け、さらに能動的に行動する市民の増加が必要であり、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JCI 山形が、市民参加型の事業実施により、市民に地域社会の現状と問題点を認識する機会を提供する。 ・JCI 山形が、SNS 以外にも幅広く具体的な問題解決の手法を提案し、市民が行動できる機会を提供する。 <p>今後のさらなる推進のためには本ミーティングに参加した市民からの行動による、運動の成果のフィードバックが必要である。比較的小規模なLOM単位での行動が生み出した成果を地域社会の市民に伝えることにより、より多くの地域社会の市民がアクティブシチズンに生まれ変わる。</p>
<p>考察や推奨</p>	<p>想定以上の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ミーティング後に市民が自発的に同じ思いを持つ仲間を増やすための行動を行なった。

	<p>②さらに地域社会に貢献する手法を身につけようとまちづくりに関する勉強会の企画が参加した市民から立案された。</p>
	<p>本プログラムのポイント</p> <p>①同じ思いを持った市民が集まり、話し合い互いの情報を共有するキッカケを創ることが出来たこと。</p> <p>②市民が SNS 活用する方法を身につけることで多数の情報発信源とネットワークを作ることができた。</p> <p>③参加していない方にはどういう事業なのか理解しにくい。</p> <p>そのため、実際に参加した方の意見を聞いたり、専門家の参加などにより、分かりやすく参加しやすい事業にする必要がある。</p>
<p>全部で200字以上</p>	<p>【対内評価】</p> <p>JCI 山形メンバーよりの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンバー自身が地域について考える機会になった。 ・参加型の事業にし実際に顔を合わせたことで、ネットだけでは得られない話を聞くことができた。

・JCI 山形メンバー以外の市民の意見を直接聞く事が出来て街づくりに対して刺激になった。

コーディネーター 平尾清氏からのコメント

・山形市ではこれまでこの事業のような活動が少かったため、市民が地域について発信する方法を知らずにいたので、貴重な機会となった。

・今後も JCI 山形が継続して市民に情報交換の機会を提供することを期待する。

山形新聞(発行部数:206,000部)

販売エリア:山形県全域:人口1,172,613人・392,855世帯